

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 23-75

補助事業名 平成23年度 九州の新成長戦略に基づく事業創出推進補助事業

補助事業者名 一般財団法人 九州産業技術センター

1 補助事業の概要 (<http://www.kitec.or.jp/23hojyojigyou.pdf>)

(1) 事業の目的

「九州新成長戦略」の実現に向け、九州地域の中堅・中小企業が新産業の創出へつなげられる技術シーズ・ニーズのコーディネート、研究開発及び事業化のための支援を行い、もって地域機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

ア. 新成長戦略調査研究

本事業「九州の新成長戦略に基づく事業創出推進補助事業」の戦略的な位置づけとして、事業創出調査研究、コーディネータ交流会の開催、ミニセミナーの開催の各事業を統括して進めるため、委員会を2回、マイルトスーン分科会を4回開催した。

また、九州経済産業局が策定する「九州成長戦略アクションプラン」の実現に向けこの一翼を担うため、事業推進委員会において、重点的に取り組む戦略分野及び企業候補の選定を行うため、市場ニーズ及び技術ニーズ調査のための委託調査「九州における機械工業の動向調査」を行った。



【委員会開催風景】



【委員会開催風景】

イ. 事業創出調査研究

採択した研究開発委託調査の7件についての事業化調査研究会を述べ18回開催するとともにコーディネータ活動で発掘した技術ニーズ及びシーズ141件の、

事業化へのステージアップを行った。そのうち15件のマッチングに成功し、研究会として13件発足、24回の研究会を開催し、事業化へのステップアップを図った。

なお、事業期間内に各コーディネータとの連携を図るため、コーディネータ連絡会を5回開催し、活動の進捗状況の管理、情報交換等を行った。



【コーディネータ連絡会開催風景】



【事業創出研究会開催風景】

ウ. コーディネータ交流会の開催

中堅、中小企業が研究開発の促進、及び事業化の取り組み支援を充実するための手助けを行うコーディネータ及び事業プロデューサーの確保、資質の向上を図るため、意見交換、有識者によるセミナー等を実施し、高い評価を得た。

- ・ 第1回コーディネータ交流会の開催 平成23年11月17日(鳥栖市)
- ・ 第2回コーディネータ交流会の開催 平成23年12月13日(福岡市)



【コーディネータ交流会開催風景】



【コーディネータ交流会開催風景】

エ. ミニセミナーの開催

九州域内の研究開発型中堅、中小企業に対して、見識者の講演を交え産学官連携による事業化の成功事例を発表することにより、事業者への啓蒙を図るとともに事業者の発掘を行うため、4回開催し、異業種交流、企業技術者・経営者の知識・技術交流の場が形成でき、技術課題を抱えた中堅・中小企業への問

題解決へのヒントを与えるなど、事業化への展開を促進することができた。



【ミニセミナー開催風景】



【ミニセミナー開催風景】

2 予想される事業実施効果

(1) 新成長戦略調査研究

応募のあった研究委託調査テーマ案件の評価・審査を行い、機械工業の振興に資する研究開発テーマを選定、事業化への諸課題の検討をはじめとしたブラッシュアップへの助言等を行い事業の成果につなげた。また年度事業の全般にわたり、実用化・事業化への適切なアドバイスが行われ、今後の具体的な成果が期待できる。

(2) 事業創出調査研究

研究開発委託調査案件の事業化調査研究会及びコーディネータ活動で発掘した案件の研究会開催を通じて事業化へのステップアップを図ることができ、今後の国等へのプロジェクトへの応募等が期待できる。

(3) コーディネータ交流会の開催

九州域内のコーディネータ及び事業プロデューサーの参加が事前計画の目標を大きく上回り、コーディネータの連携において高い評価を得ることができ、今後の九州域内の事業化への展開が大いに期待できる。

(4) ミニセミナーの開催

異業種交流、企業技術者・経営者の知識・技術交流の場が形成でき、技術課題を抱えた中堅・中小企業への問題解決へのヒントを与えるなど、今後への事業化への展開を促進することが期待できる。

3 本事業により作成した印刷物等

- ・平成23年度九州の新成長戦略に基づく事業創出推進事業 研究開発委託調査募集要綱
- ・平成23年度九州の新成長戦略に基づく事業創出推進事業 コーディネータ活動

- ・ [平成 23 年度九州の新成長戦略に基づく事業創出推進事業 事業化調査研究会成果報告書](#)



- ・ [平成 23 年度九州の新成長戦略に基づく事業創出推進事業 コーディネータ調査報告書](#)



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人九州産業技術センター（キュウシュウサンギョウギジュツセンター）

住所： 812-0013

福岡県福岡市博多区博多駅東 2-13-24

代表者名： 会長 鎌田 迪貞（カマタ ミチサダ）

担当部署： 技術振興部（ギジュツシンコウブ）

担当者名： 技術振興部長 二階堂 正憲（ニカイドウ マサノリ）

電話番号： 092-411-7394

FAX 番号： 092-472-6688

E-mail： <mailto:info@kitec.or.jp>

U R L： <http://www.kitec.or.jp/>

次ページ以降は、過去の補助事業の内容に関する資料となります。

JK Aの補助事業「事業創出研究事業」から国のプロジェクト事業

「地域イノベーション創出研究開発事業」採択、事業化の事例

～企業の技術ニーズと大学の技術シーズとのマッチングから産学官連携による解決の事案～

「新規光計測によるプラスチック精密選別リサイクルシステム」の開発及びその事業化

(技術ニーズ)

私たちの生活に欠かせないプラスチックは、リサイクルに適用可能な識別装置がないことから、その多くは焼却や埋め立てを行い、有効に活用されていなかった。そのため現場では高速で精密なりサイクルシステムが求められていた。

(研究課題)

産業廃棄物株式会社サイムは、家電リサイクルから発生するシュレッダーダスト中の廃プラスチック片を高精度に選別回収することをターゲットに、ラマン散乱、光熱変換、レーザー励起発光といった光計測技術を応用した精密選別技術の開発を行っていた。

(事業創出研究事業)

学校法人 近畿大学産業理工学部福岡キャンパスの河済博文教授を中心とするメンバーは研究課題に対応するため、(財)九州産業技術センター事業創出研究事業に応募し、採択され一年間の研究を実施、プラスチックとその添加物に関してより精密な情報と、かつ高度な識別判定が可能な技術の検討、回収プラスの用途に応じた複数の識別方法の探索を進めた。

(経済産業省地域イノベーション創出研究開発事業)

株式会社サイムがPM(プロジェクトマネジャー)となって学校法人近畿大学、九州計測器、福岡県工業技術センターによる産学官連携によって、経済産業省のプロジェクトに応募、採択され、実用に供しうる廃プラスチック水平リサイクルシステム全体の構築に向かって研究開発事業がスタートした。

特に家電リサイクルから発生するシュレッダーダスト中の廃プラスチック片を高精度に選別回収することをターゲットにラマン散乱、光熱変換、レーザー励起発光といった光計測技術を応用した精密識別技術の開発を行った。

これらの研究開発事業で、目的としたプラスチック材料リサイクルのための精密識別システムの構築は十分な完成度で研究項目を達成した。

(実用化、事業化)

本案件は、廃プラスチック片を高精度に回収することを目的としてスタートしたもので、新しい精密識別装置は業界のニーズを満たすものとして注目されており、第一号を納品、今後の展開が期待される。



プラスチック精密識別装置